

(個人研修) 菊地陽子

- 研修テーマ：**
- ・ 地域包括ケアシステム、チームケアでのケアマネジメント手法
  - ・ 認知症、障害者を含む高齢者を取り巻く環境と自己決定の尊重
  - ・ ノーマリゼーションの思想に基づいた援助について学ぶ

研修地：デンマーク オーデンセ OK-Fonden Gurli-Vibeke

研修日：6月5日～6月17日

認知症の診断を医師から受けた者が入居可能。コミュニンと提携しており全国に多数の施設を運営している。施設は26名で2階と3階に各13室の居室がある。全室個室でバス・トイレつき。リフターが必要な部屋には全てリフターがついている。入居者は50代～90代。

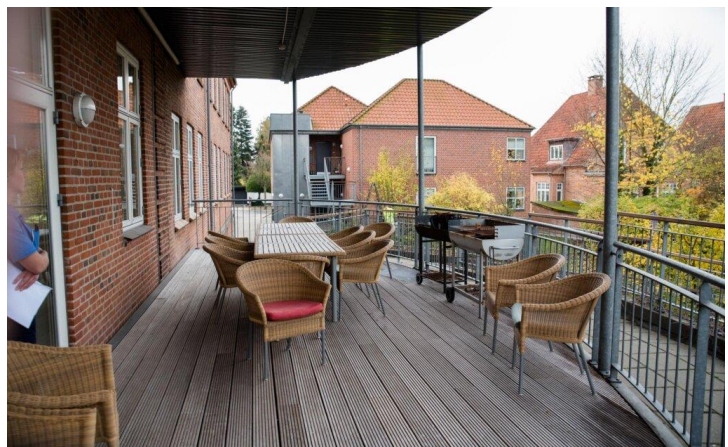
部屋によって多少、広さは違うがみんな自宅から馴染みのある家具を持ち込んでおり、家具の配置は家族によって考えられているとのこと。自身や家族の写真が至るところに飾ってある。



個室内

施設外観

天気の良い日は外のテラスで食事やお茶を楽しむこともある。2階からはこの時期、緑のきれいな景色が眺められる。



この施設はケアにマルテメオ手法を取り入れている。

国内で2箇所目のマルテメオの認証施設を目指しているとのこと。

マルテメオとは「自分の力で」を意味し、オランダ人のマリア・アールツによって開発された。

この方法は 1994 年からデンマークで知られており、子供教育分野から始まり障害者、認知症ケアに広がっている。

マルテメオメソッドはコミュニケーションをポジティブウェイで行うビデオベースのメソッドである。

スタッフは常に入居者が居心地良く過ごせるように考えて我慢強くケアに当たっており、一日の流れがゆっくりで入居者、スタッフともにリラックスしていて、毎日穏やかに過ぎていくのが印象的です。